

年齢階級別死因順位(静岡県 令和6年)

人口動態統計

順位	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
第1位	悪性新生物<腫瘍>	周産期に発生した病態	自殺	自殺	自殺	悪性新生物<腫瘍>	悪性新生物<腫瘍>	悪性新生物<腫瘍>	悪性新生物<腫瘍>	老衰
第2位	老衰	先天奇形、変形及び染色体異常	悪性新生物<腫瘍>	悪性新生物<腫瘍>	悪性新生物<腫瘍>	自殺	心疾患(高血圧性を除く)	心疾患(高血圧性を除く)	心疾患(高血圧性を除く)	悪性新生物<腫瘍>
第3位	心疾患(高血圧性を除く)	不慮の事故	不慮の事故	不慮の事故	不慮の事故	心疾患(高血圧性を除く)	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	心疾患(高血圧性を除く)
第4位	脳血管疾患	*1)	心疾患(高血圧性を除く)	心疾患(高血圧性を除く)	心疾患(高血圧性を除く)	脳血管疾患	自殺	不慮の事故	老衰	脳血管疾患
第5位	肺炎		先天奇形、変形及び染色体異常	その他の新生物<腫瘍>、脳血管疾患、肝疾患	脳血管疾患、肝疾患	肝疾患	肝疾患、不慮の事故	肝疾患	肺炎	肺炎
備考	自殺は13位	自殺者なし						自殺は6位	自殺は16位	自殺は26位

*1) 腸管感染症、悪性新生物<腫瘍>、心疾患(高血圧性を除く)、肺炎、間質性肺炎、ヘルニア及び腸閉塞、肝疾患、乳幼児突然死症候群

年齢階級別死因順位(静岡県 令和5年)

順位	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
第1位	悪性新生物<腫瘍>	先天奇形、変形及び染色体異常	自殺	自殺	自殺	悪性新生物<腫瘍>	悪性新生物<腫瘍>	悪性新生物<腫瘍>	悪性新生物<腫瘍>	老衰
第2位	老衰	不慮の事故	悪性新生物<腫瘍>	不慮の事故	悪性新生物<腫瘍>	自殺	心疾患(高血圧性を除く)	心疾患(高血圧性を除く)	心疾患(高血圧性を除く)	心疾患(高血圧性を除く)
第3位	心疾患(高血圧性を除く)	周産期に発生した病態	先天奇形、変形及び染色体異常	悪性新生物<腫瘍>	不慮の事故	心疾患(高血圧性を除く)	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	悪性新生物<腫瘍>
第4位	脳血管疾患	悪性新生物<腫瘍>	不慮の事故	心疾患(高血圧性を除く)	心疾患(高血圧性を除く)	脳血管疾患	自殺	不慮の事故	老衰	脳血管疾患
第5位	肺炎	心疾患(高血圧性を除く)	心疾患(高血圧性を除く)	肺炎	脳血管疾患	不慮の事故	肝疾患	自殺	肺炎	肺炎
備考	自殺は12位	自殺者なし							自殺は15位	自殺は25位

年齢階級別死因順位(静岡県 令和4年)

死因順位	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
第1位	悪性新生物<腫瘍>	先天奇形、変形及び染色体異常	自殺	自殺	自殺	悪性新生物<腫瘍>	悪性新生物<腫瘍>	悪性新生物<腫瘍>	悪性新生物<腫瘍>	老衰
第2位	老衰	周産期に発生した病態	不慮の事故	不慮の事故	悪性新生物<腫瘍>	自殺	心疾患(高血圧性を除く)	心疾患(高血圧性を除く)	心疾患(高血圧性を除く)	悪性新生物<腫瘍>
第3位	心疾患(高血圧性を除く)	不慮の事故	悪性新生物<腫瘍>・脳血管疾患・肺炎	悪性新生物<腫瘍>	脳血管疾患	心疾患(高血圧性を除く)	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	心疾患(高血圧性を除く)
第4位	脳血管疾患	悪性新生物<腫瘍>		心疾患(高血圧性を除く)	不慮の事故	脳血管疾患	自殺	肝疾患	肺炎	脳血管疾患
第5位	肺炎	心疾患(高血圧性を除く)		肝疾患	心疾患(高血圧性を除く)	肝疾患	肝疾患	不慮の事故	老衰	肺炎
備考	自殺は10位							自殺は6位	自殺は15位	自殺は25位

年齢階級別死因順位(静岡県 令和3年)

死因順位	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
第1位	悪性新生物<腫瘍>	先天奇形、変形及び染色体異常	自殺	自殺	自殺	悪性新生物<腫瘍>	悪性新生物<腫瘍>	悪性新生物<腫瘍>	悪性新生物<腫瘍>	老衰
第2位	老衰	不慮の事故	悪性新生物<腫瘍>	不慮の事故	悪性新生物<腫瘍>	自殺	心疾患(高血圧性を除く)	心疾患(高血圧性を除く)	心疾患(高血圧性を除く)	悪性新生物<腫瘍>
第3位	心疾患(高血圧性を除く)	周産期に発生した病態	先天奇形、変形及び染色体異常	悪性新生物<腫瘍>	不慮の事故	心疾患(高血圧性を除く)	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	心疾患(高血圧性を除く)
第4位	脳血管疾患	悪性新生物<腫瘍>	不慮の事故	心疾患(高血圧性を除く)	心疾患(高血圧性を除く)	脳血管疾患	自殺	不慮の事故	肺炎	脳血管疾患
第5位	肺炎	急性気管支炎	心疾患(高血圧性を除く)	肺炎	脳血管疾患・不慮の事故	不慮の事故	肝疾患	自殺	老衰	肺炎
備考	自殺は10位								自殺は14位	自殺は25位

年齢階級別死因順位(静岡県 令和2年)

死因順位	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
第1位	悪性新生物<腫瘍>	先天奇形、変形及び染色体異常	自殺	自殺	自殺	悪性新生物<腫瘍>	悪性新生物<腫瘍>	悪性新生物<腫瘍>	悪性新生物<腫瘍>	老衰
第2位	心疾患(高血圧性を除く)	周産期に発生した病態	悪性新生物<腫瘍>	不慮の事故	悪性新生物<腫瘍>	自殺	心疾患(高血圧性を除く)	心疾患(高血圧性を除く)	心疾患(高血圧性を除く)	悪性新生物<腫瘍>
第3位	老衰	悪性新生物<腫瘍>	不慮の事故	悪性新生物<腫瘍>	不慮の事故	心疾患(高血圧性を除く)	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	心疾患(高血圧性を除く)
第4位	脳血管疾患	乳幼児突然死症候群	心疾患(高血圧性を除く)・先天奇形、変形及び染色体異常	心疾患(高血圧性を除く)	心疾患(高血圧性を除く)	脳血管疾患	自殺	肝疾患	肺炎	脳血管疾患
第5位	肺炎	心疾患(高血圧性を除く)・インフルエンザ		脳血管疾患	脳血管疾患	肝疾患	肝疾患	不慮の事故	不慮の事故	肺炎
備考	自殺は10位							自殺は6位	自殺は13位	自殺は23位

※順位判定には人口動態統計「死因順位に用いる分類項目」を参考にした。 出典:人口動態統計